

株式会社アートネイチャー
2020年3月期 第2四半期決算説明会 質疑応答概要

こちらは2019年11月7日(木)に開催したアナリスト・機関投資家向け決算説明会にご参加頂いた方からの質問に対する回答になります。

Q. 足元で消費税の反動減はどのくらい出ているか。

A. 詳しくは11月14日に単体売上月次速報を開示するのでそちらをご確認いただきたい。

Q. 同業他社では美容機器を販売する等新領域に進出していると思うが、当社はどうか。

A. 当社においても美容機器等の販売は既に実施している。今後も需要の動向等を見極めた上で拡大していく考えである。

Q. 9月の月次開示について、延べ来店数が増えていないが売上が伸びているのはどのように理解すればよいか。単価が上がっているのか。

A. 単価に変化はないと認識している。コンスタントにご来店して頂いている方が、増税前にタイミングを早めて購入したケースが重なったため、売上高が伸びたと考えている。

Q. 今回子会社化を発表したナオ・アート社をグループ化した理由は。

A. 同社は値頃感のある商品を取り扱う会社であり、当社グループの顧客層を拡大出来ると考えている。また、決算短信の開示通り、第2四半期決算に同社の業績は反映されていない。

Q. 今後も買収は考えていくのか。

A. 相手もあることなので何とも言えないが、機会があれば引き続き検討していく。

Q. ナオ・アート社をグループ化したことで、アートネイチャー社の店舗でも同社の商品を売るのが、またその逆もあるのか。

A. そういった事は考えていない。単価の維持・向上の観点からも、ハイエンド商品、スタガード商品は、従来通り、それぞれ別のチャンネルで販売する考えである。

以上